

令和6年度実施

稲城市立病院 薬剤師採用試験案内



稲城市立病院 管理課



©K.Okawara・JET inc.ue
稲城市

稲城市立病院職員（薬剤師）採用試験実施要綱

1. 採用職種及び採用予定人数

採用職種：薬剤師 採用予定人数：若干名

2. 採用日

- ・有資格の方は応相談
- ・資格取得見込みの方は令和7年4月1日付（国家試験に合格しない場合は採用されません）

3. 受験資格

(1) 次の2つの要件いずれかを満たす方が受験できます。

ア. 既に薬剤師資格を取得している方

⇒平成7年（1995年）4月2日以降に生まれた方

イ. 薬剤師の資格取得見込みの方

⇒2025年施行予定の第110回薬剤師国家試験により免許取得見込みの方

(2) 次に該当する方は受験出来ません。

地方公務員法第16条による欠格事項の該当者

4. 試験日、試験内容等

(1) 試験日時

（一次試験）書類選考

（二次試験）令和6年8月下旬の平日17時以降を予定

(2) 試験内容

（一次試験）

・申込書兼履歴書

・指定課題論文

次の課題について原稿用紙（ホームページに掲載しているものを使用のこと）

に1,000字から1,200字以内で考えを自書

課題『稲城市立病院薬剤師として貢献したいこと、また自身の将来ビジョンについて述べよ』

（二次試験）

・適性検査5分程度

・面接15分程度

(3) 二次試験会場 稲城市立病院

(4) 結果通知 各試験結果は合否にかかわらず通知します。

5. 受験手続

(1) 申込方法 応募者は次の書類を提出してください。

ア 採用試験申込書兼履歴書（ホームページに掲載しているものを使用のこと）

イ 事前提出レポート（ホームページに掲載しているものを使用のこと）

ウ 薬剤師免許証の写し（A4サイズ）・・・・・・有資格の方

エ 卒業（見込）証明書及び成績証明書・・・・・・資格取得見込みの方

(2) 応募書類の提出 令和6年8月19日(月)必着

※持参の場合は、稲城市立病院3階管理課庶務係に平日の9時から17時まで

※来院時はマスクを着用し、体調に不安がある場合は来院をご遠慮ください

(3) 病院見学

・感染対策のため、見学場所が限られますが、ご希望の方は日程調整いたしますので、下記の必要事項をご記入のうえメールをお願いします。メールが届きましたら、日程調整を行い随時ご連絡します。1週間ほど経過しても当院より連絡がない場合は、一度お電話にてご連絡願います。

件名：病院見学希望（薬剤師）

1. お名前（ふりがな）
2. 生年月日
3. 性別
4. 電話番号
5. 学校名 学年（在学中の方のみ）
6. 現在の状況（既卒の方のみ）
 - ・資格
 - ・経験年数
 - ・勤務先名
7. 見学希望日 第一希望 月 日
第二希望 月 日
第三希望 月 日

6. その他

(問い合わせ及び郵送先)

住所 〒206-0801 東京都稲城市大丸1-1-7-1番地

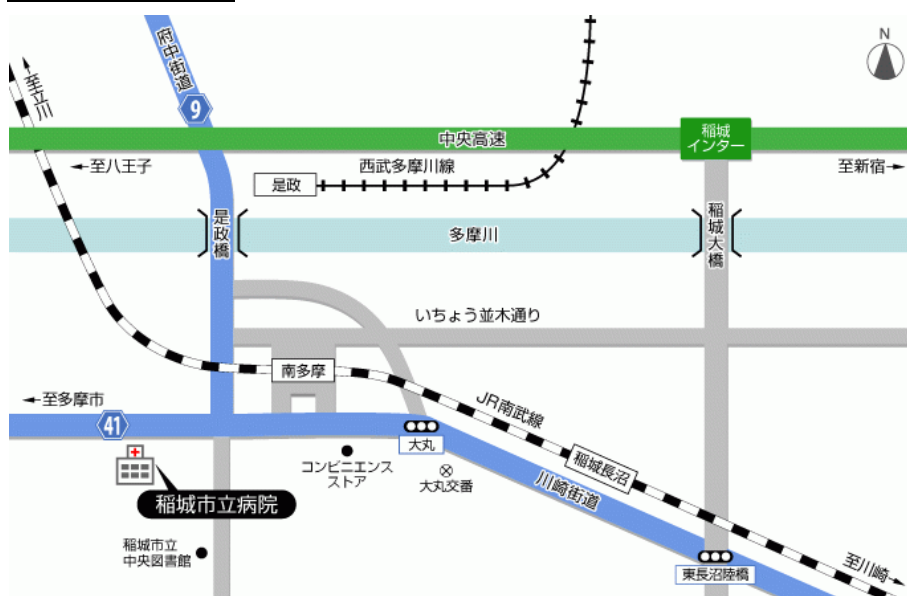
稲城市立病院 管理課 庶務係

電話 042-377-0931

E-Mail info@hospital.inagi.tokyo.jp

アクセスマップ

JR南武線南多摩駅から徒歩約5分



初任給・勤務条件等

(1) 初任給(令和6年4月1日現在)

薬剤師 247,595円(地域手当32,295円含む)

*薬剤師の職歴がある場合、所定の基準により当金額に加算します。

(2) 手当

地域手当 (給料+扶養手当)×15%

扶養手当 配偶者 6,000円、子9,000円

住居手当 世帯主 15,000円(賃貸物件居住で35歳未満の世帯主対象)

宿日直手当 1回 14,000円

危険手当 月額2,300円

期末・勤勉手当(6・12月支給) 4.65月(令和6年度見込み)

*その他通勤手当・時間外手当等が支給されます。

(3) 年収見込み

大卒 5年目 約520万円

大卒10年目 約565万円

*実績手当が別途加算されます。

(4) 勤務時間

勤務時間は週38時間45分(完全週休2日制)を基準とします。

宿日直勤務あり。

(5) 有給休暇

年次休暇(4月1日付け採用の場合、1年目20日、2年目以降は採用日に関係なく20日。前年度残日数は20日まで繰越可)、夏季休暇(5日)、結婚休暇(7日)、その他産前産後休暇、慶弔休暇など。

(6) その他

- ・東京都市町村職員共済組合加入(年金、保険)
- ・東京都市町村職員退職手当組合加入(退職金)
- ・稲城市立病院職員互助会加入(福利厚生)
- ・院内保育室あり
- ・車通勤可(立体駐車場完備)
- ・白衣貸与あり

※採用前に給与改定、制度改正等があった場合は、その定めによります。

<参考>

厚生労働省が実施した調査によると、公立病院に勤務する薬剤師の平均年収約600万円に対し、医療法人に勤務する薬剤師の平均年収は約530万円でした。

(第24回医療経済実態調査)

給与や育児・介護の諸制度が充実していることと合わせ、公立病院は、長期的なキャリアアップを考えて、一つの職場で長く働きたい方に適した職場であると考えています。